



人財の確保・定着、付加価値の適正分配
ONE TEAMで生活改善を実現しよう

2024年 2月22日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 九 州 地 方 協 議 会 2024 春季生活闘争勝利！総決起集会

J R 連 合 九 州 地 協 は 2 月 1 7 日、福 岡 市 内 で「2024 春季生活闘争勝利！総決起集会」を開催し、加盟4単組がONE TEAMとなって士気を高め、2024 春季生活闘争勝利に向けた決意を固めあった。

集会には、加盟単組（J R 九 州 労 組、J R 西 労 組 福 岡 地 方 本 部、貨物鉄産労九州地区本部、J R 九 州 バ ス 労 組）の代表者らが結集したほか、21 世紀の鉄道を考える議員フォーラムに所属する城井崇衆議院議員・堤かなめ衆議院議員も駆けつけ、それぞれから連帯の挨拶を受けた。J R 連 合 か ら は 住 吉 一 家 労 働 政 策 局 長 が 参 加 し た。



吉田 祥 司 議 長

主催者を代表して挨拶した吉田祥司議長（J R 連 合 副 会 長 ・ J R 九 州 労 組 中 央 執 行 委 員 長）は、J R グループを取り巻く情勢について、離職の増加が業績悪化や産業劣化に繋がりにかねないとの懸念を示したうえで、「2024 春闘においてすべての仲間の雇用維持・創出と人財確保により、安心して意欲高く働ける環境を創らなければならない」との課題認識を示した。そして、物価高騰への対応や賃金水準の目標達成を通して生活を豊かにしていくため、「加盟単組が一致団結して2024 春闘を闘い抜き、大きな成果を勝ち取ろう」と呼びかけた。

基調講演では、住吉労働政策局長が2024 春闘のポイントや取り巻く情勢を説明し、「賃金も物価も安定的に上昇する経済社会へステージ転換を図るためには、労使のマインドの変革が必要であり、交渉に直接関わる役員のみならず、組合員一人ひとりもデフレマインドからの脱却に努めてほしい」と理解を求めた。そして、価格転嫁や取引適正化の取り組みの重要性を訴えるとともに、J R 連 合 は、「労使関係では解決できない政策課題の解決」を通じて、労使協議の後方支援や基盤整備に全力を尽くすことを誓った。

集会の終盤では、J R 西 労 組 福 岡 地 本 の 大 戸 浩 之 書 記 長、貨物鉄産労九州地区本部の小林優太郎青年部長、J R 九 州 バ ス 労 組 の 甲 斐 青 空 書 記 次 長、J R 九 州 労 組 の 花 田 祐 希 中 央 執 行 委 員 が 演 台 に 立 ち、それぞれから2024 春闘に臨む決意が表明された。



左から、大戸書記長、小林青年部長、甲斐書記次長、花田執行委員

最後に、「ONE TEAMで闘い抜き、すべての仲間の幸せを実現する」との決意が込められた集会アピールを採択し、吉田議長の団結ガンバローで閉会した。